


「あだち放課後子ども教室」は、地域の方々の協力を得ながら運営されており、子どもたちが自主的に活動する場です。

今月のテーマ 
**スタッフをやっている
 うれしかったこと**

日頃からスタッフはたくさんの子もたちと接しています。今回は、長門小学校放課後子ども教室（以下「長門キッズ」）のスタッフに、子どもたちとのエピソードを伺いました。

● 子どもの成長を一番近くで見えています

長門キッズに参加する子どもたちは、からだを動かすことが大好きです。公園ではボール遊びができないため、校庭で思い切りバットを振ったり、ボールを投げたりできる野球が大人気です。

スタッフリーダーの菅野さんは、野球をはじめとするさまざまな遊びを通じて、仲間づくりができている様子を、目を細めて見守っています。



長門キッズでは野球が大人気！
プロ野球選手をめざす子もいます

スタッフを募集している放課後子ども教室があります。

詳しくは下記までご連絡ください。

問い合わせ (公財) 足立区生涯学習振興公社 放課後子ども教室担当

☎5813-3732 (平日 午前9時～午後5時)

● 町中でもあいさつをしてくれます

友だちが一緒の時は、恥ずかしいからか、スタッフとあまり話しをしてくれない子どもたちでも、ひとたび学校を離れ、町中で出会うと、人懐っこく話しかけてくれます。長門小学校を卒業した子どもたちも、元気にあいさつをしてくれるそうです。どのスタッフも「外で出会った時にも、元気よくあいさつをしてくれることが一番うれしいです」と、口を揃えて話してくれました。



参加しない日でも、ひとりで
おしゃべりをしにくる子もいます

● 子どもたちから元気をもらえます！

スタッフの役割は子どもたちの活動の見守りなので、普段は一緒に遊ぶことはありません。しかし、状況が許す場合には、子どもとキャッチボールをすることがたまにあります。その時に子どもが見せる“満面の笑み”に、スタッフも自然と笑顔になり、「心のキャッチボール」ができていていると感ずるそうです。



この笑顔を見ると
元気になります

子どもたちの安全・安心を守るために、日々スタッフがあたたかく見守っています。スタッフのことや遊びのことを、ご家庭で話題にさせていただくことで、感謝の気持ちが育っているようです。